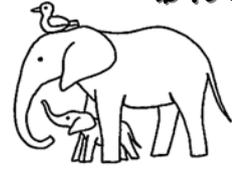


栄町
若葉町

まちねっと



講演会 共に生きよう！築こう、コミュニケーションカ

～心の豊かさは人と人とのふれあいから～

～家族、学校、地域、社会。

多様化する社会の中で老若男女が共に楽しく、心豊かに生きるために・・・

また未来へつなぐ子どもたちが多くの人と出会えるように・・・

ネットワークを拡げて交流の輪を広げるヒントについて、考えませんか？～

講師は高齢者福祉での活躍が有名ですが、以前は社会教育等を通じて青少年に長く関わってきました。地域の大人や家庭が青年にどう接したら良いのか？学校関係者にも

地域の方にも聞いて頂きたいお話です。

日時 平成24年3月3日（土）
午後1時30分～3時30分

場所 市立若葉小学校図書室（北校舎）

講師 大村洋永氏／現至誠ホームスオミ園長
内閣府・青少年自立支援モデルプログラム開発委員会委員なども歴任

主催 ホリデースクールわかば※ 運営委員会／
ホリデースクールわかばボランティアコーディネーター若葉小部会／立川市社会福祉協議会
（※）若葉小とけやき台小を会場に土曜日の子ども達の居場所づくりをしている活動団体です。



街の掲示板

◆ボーイスカウト・ガールスカウトに入りますか？募集説明会を開きます！

日時 平成24年3月3日（土）
午前10時～12時 場所/若葉会館

対象 ボーイスカウトは小学校3年生～
ガールスカウトは幼稚園年長年齢～

問合せ ボーイスカウト立川第5団
飯田照夫 090-1543-7383
ガールスカウト東京都第113団
長岡和子 090-4522-1681

◆介護老人保健施設わかばボランティア募集

五日市街道沿いにある高齢者施設です。
色々な活動のお手伝いを募集しています。

手作業・・・手芸、貼り絵、塗り絵など／喫茶室の運営・・・月1回土曜日に開きます。／音楽療法・・・唱歌、懐メロなどを利用者の方に合わせてピアノ伴奏していただける方

連絡先 042-538-0871 岩野まで

◆電子ピアノを譲って下さい

けやき台団地集会所で交流のために使用します。故障なく全鍵のものを希望。

けやき台団地自治会事務室 535-7592
（月）（水）午前10～3時 （土）午前10～12時

◆「犬・猫の譲渡会」事前お手伝いを募集

被災地や市内で保護された犬や猫の譲渡会を開きます（4/28（土）玉川上水ステッチマルシェにて）。当日に向けた事前準備にご協力頂ける方はご連絡下さい。また、被災地の動物達の一時預かりのボランティアも募集しております。

090-6120-6282 10時～17時

「にゃんにゃん」（動物愛護推進委員）

目次	P2	●災害「支援」と「備え」を ●学習会、懇談会のお知らせ他
	P3	●「介護」支える人を支える ●「公会堂」と「住民のきづな」
	P4	●こんな時も「ほーかつ」です！

※地域福祉コーディネーター／みなさんと一緒に地域福祉活動をすすめる社会福祉協議会の職員です。
栄町・若葉町に配置され「誰もが安心して楽しく幸せに暮らせるまち」を目指して活動しています。

災害「支援」と「備え」を

◇被災地出身の方はいらっしゃいませんか？

現在、社会福祉協議会では東京都の「避難者の孤立化防止事業」を受託し、立川に避難している方への訪問を行っています。今まで地縁の強い地域から東京へ来られた為、同郷の方との交流を望まれている方もいらっしゃいます。そこで、できるだけ馴染みのある地域ごとに被災地出身の方が交流できる場を作りたいと思っています。故郷が被災地だという方がいらっしゃったら、是非お手伝い頂けると幸いです。地域福祉コーディネーターまでご一報下さい。

◇けやき台団地自主防災協議会の取り組み

「大地震が発生したとき、けやき台団地はどうなる？具体的にイメージをしてみよう」という「発災シミュレーション講座」を1月14日

に開きました（協力/立川市災害ボランティアネット）。30名が団地のブロックごとに分かれて今まで予想していた以上の事態を推測して出し合い、発災前から取り組まなくてはならないことを確認しあいました。



◇子育て中の家族と「防災」

小さい子どもがいる家庭に必要な防災について、1月は2つの子育てサークルを訪問してミニ講座を開きました（協力/立川市災害ボランティアネット）。避難所や避難用品のことだけではなく、勤務先の夫との連絡をどうとるか、ご近所や自治会とのネットワーク作りがいざという時の命に関わる、などのお話をしました。



現在介護に携わっている方へお知らせ 「介護マーク」ご存知ですか？

「高速道路のサービスエリアで妻を女性トイレに連れて行って不審者に間違われた」介護をしているある男性の意見がきっかけで、静岡県が作成したのが「介護マーク」です。

他にも「妻の下着を買いに行くときに不審に思われなかつても疲れる」という声も聞かれます。

また認知症の高齢者は一見健康そうですが、買い物中や街中で迷子になり易い等、介護者の目が離せない人も多く、周囲の協力や目配りがあるととても助かります。

このマークは透明のケースに入れて首からさげて使います。マークの普及によって周囲の介護に対する共感や理解が広がり、介護者の心労が少しでも軽くなれば良いと思います。

お問合せは地域包括支援センターか、コーディネーターへご相談下さい。



実際はカラーです

「入院！」になって困らないために 病院のしくみについて学びましょう

「患者の立場で支える

病院の相談員からのアドバイス」

日時：平成24年4月20日（金）

午後2時～3時半

講師：国立病院機構 災害医療センター

地域医療連携室

場所：幸学習館 第1学習室

定員：20名（先着順）

申込み：わかば地域包括支援センター（4面）

障がいのある人もない人も共に暮らしやすい街へ 地域懇談会を開催します

「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい立川を考える会」の栄町若葉町地域懇談会を開催します。防災に強く、風通しの良い街について一緒に考えませんか？

日時：平成24年2月29日（水）

午前10時～12時

場所：幸学習館第1教室

問合せ：地域福祉コーディネーター（4面）

介護 ～ 支える人を支える

介護に携わっている方向けの会です。是非一度お越し下さい。

◆男性介護者の集い（定例会）

認知症に限らず、高齢者や難病のご家族等を介護している男性が対象の会です（隔月開催）。

日 時 平成24年4月7日（土）

午後1時半～3時半

場 所 幸学習館 実習室



問合せ わかば地域包括支援センター（4面）

◆わかばの会（認知症の高齢者を支える家族の会）

認知症の高齢者を介護している方が集まり、

安心して疑問や不安を出し合う場です。また医療機関や介護サービスを利用している人の「生の声」や「ケアマネージャーとはこう付き合っている」という知恵が多く飛び交っていて、参加者にとって得るものが多い会だと思います。基本的に毎月1回、若葉会館で開催しています。途中の入退室でも結構です。

日 時 平成24年2月13日（月）

平成24年3月12日（月）

午後1時半～3時半

場 所 若葉会館

問合せ 地域福祉コーディネーター（4面）

いう心配や、存続自体が必要なのかどうかという意見もあります。そういう意見にも丁寧に対応し「公会堂説明会」を4回開き公会堂の現状と機能、必要性を伝える努力をしてきました。

◇豊かなコミュニケーションと軽やかな交流

会長は「小規模の自治会だからできた」「良い大家さんにも恵まれた」と仰いますが、3年間をかけて常に丁寧に話し合いを重ね、お互いの意見や心情に耳を傾け、納得を得られるように手間をかけて進行してきた様子が伝わってきました。ともすれば「速く決めればよい」「何度も話し合うのは面倒くさい」と雑になりがちですが、役員は丁寧に言葉を尽くして働きかけ、会員もそれに対してアンケートへの回答、説明会には足を運ぶ、などきちんと協力していることが伺えて、とても暖かい気持ちになりました。そしてもう一つ学んだことは、きづなを保つ工夫「笑い」です。行事をするにも楽しさやユーモアを伴って、一人ひとりへの配慮を尽くしているからです。自治会の年間行事のエピソードを伺って爆笑することが何度も。「地縁は結構楽しいものですよ」と周りに伝えたくくなりました。



祝法人化も兼ねた今年の餅つき

南栄会自治会・法人化 おめでとうございます！！ 「公会堂」と「住民のきづな」

昨年夏、栄町の南栄会自治会（約80世帯）が認可地縁団体として立川市より認可を受けて法人化されました。その道のりについて公会堂で自治会長に伺ったことをお伝えします。

◇公会堂の雨漏りから

現在の公会堂は、遠方に住む大家さんのご厚意で借用していました。公会堂は自治会・老人会などの会合や住民の茶話会、イベントなどで頻りに活用されて住民の繋がりを生み出してきました。誰にも身近でとても重要な場所といえますが、事情によっては公会堂がなくなる可能性はいつもありました。そんな中、平成21年に公会堂の雨漏りが発生します。常任理事会では修理が可能か？建替えか？等、住民から意見を集約し、予算や法律も鑑みて何度も会合を開いて可能性を検討。翌年には「公会堂検討委員会」を立ち上げて詳細の議論を続け、同時に大家さんの意向も丁寧に確認をしていきました。結果、法人化をして建物を所有することが、公会堂の存続のためにも、大家さんにとっても合理的であろうと、方針が固まりました。

◇住民の理解を得るために

当然ながら、自治会として公会堂を所有することが後々の会員にとって負担になるのではと

こんな時も「ほーかつ」(立川市北部東わかば地域包括支援センター) です!

遠方に住んでいる娘さんから相談の電話

「80歳になる母親が今まで住んでいたアパートが老朽化の為、建て替えることとなり引越しをしました。

住み慣れた場所と長年親しくしていた近所の方たちから離れてしまったことで最近は気持ちが沈んでいる様子。

今まで元気に過ごしていたのに・・・

今は介護は必要ないけれど、このまま気持ちが落ち込み、体調を崩してしまい、一人での生活ができなくなってしまうのでは・・・」

こんな時も「ほーかつ」です!

地域包括支援センターではご高齢者の心身の健康維持や生活の安定の為に支援に取り組み、介護が必要な方たちだけでなく、まだ介護を必要としていない方の介護予防の観点から、市が主催している事業や、地域にある様々な活動をご紹介します。

今までずっと働いていて、なかなか地域の方たちと交流が持ててこなかったが、これからは地域の人と交流したい、一人ではなんと

なく参加しづらい、としり込みをしていらっしゃる方でも包括職員と一緒に同行し紹介することもできますので、是非ご連絡いただけたらと思います。



お元気で生き生きと地域で生活できるようなお手伝いをさせていただきます。

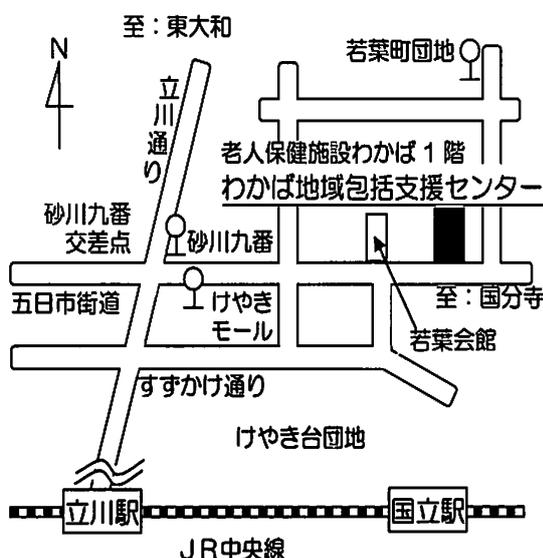
★男性介護者の集い・開催報告★

昨年12月に講演会「男性介護者の現状と支えるしくみ」を開き、講師の太田貞司教授から家族介護者のこれまでの歩みとこれについてお話頂きました。「介護は家族で」という古い日本的な考え方は、家族介護者を孤立させ、社会的な問題となっています。今後も家族介護者を支える仕組みとして「介護者支援」の制度化が望まれています。

参加者の方々からは、今後も具体的な悩みを持ち寄って、解決していける場を求める声が出されました。

今後も男性介護者の集いを続けて開催していこうと強く思った次第です。

住んで良かったと思える「わが街 若葉町・栄町」を私たちと一緒に作って行きましょう!



発行・連絡先

<立川市北部東わかば地域包括支援センター>

電話 042-538-1221

FAX 042-538-1222

w-houkatsu@tachikawawakaba.jp

住所 〒190-0001 立川市若葉町3-45-2

立川介護老人保健施設わかば内

<立川市社会福祉協議会

地域福祉コーディネーター(早川)>

電話 042-537-7147

FAX 042-537-7157

sakaewakaba@room.ocn.ne.jp

※地域包括支援センター内に席を置いて活動しています。



※地域包括支援センター/地域の高齢者の総合相談窓口。高齢者福祉の拠点として設置された機関で、市内には6箇所あります。栄町・若葉町の担当が「立川市北部東わかば地域包括支援センター」です。

イラスト/表紙象: 小林大介(4面) 似顔絵: 黒猫探偵社